

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

芸術 科目 硬筆書写

教科：芸術 科目：硬筆書写

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1～6 組(選択授業)

教科担当者：( 齋藤理絵 )

使用教科書：3級硬筆書写検定合格のポイント(日本習字普及協会)

教科 芸術(書道・硬筆書写) の目標：

- 【知識及び技能】 諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、作品を明瞭・的確にまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題を設定し、その解決に向けて考察・構想して作品を効果的に表現する力を身につける。
- 【学びに向かう力・人間性等】 より高い作品の完成を視野に、課題解決の過程を振り返って改善しようとする主体性を身につける。

科目 硬筆書写 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力・人間性等】
書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけている。 (用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解する)	書よさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わいとらえたりすることができる。 (作品の課題を設定し、その解決に向けて考察・構想して作品を効果的に表現している)	授業内容に関心を持ち、積極的な姿勢での取り組む。古典臨書の理解力と実践・発展力、また創作作品制作時の発展的な想像力の充実が図れている。適切な用具用材の取り扱い(準備、片付け等を含む)ができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
1 学 期	・1年間の学習予定(楷書、行書、仮名)を知る。 ・硬筆書写検定の内容の周知を図る。 ・学習前に検定問題を解く。 ・現段階の認識度と不得意部分を確認する。 ・楷書の基本点画を練習する。 ・基本の反復練習をし、楷書の基本を習得する。	ガイダンス 実力調査(検定理論：第7～10問) 楷書の基本点画		○	○	(知) 書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・正しい筆順、筆順の原則を学習する。 ・基本の反復練習をし、楷書の基本を習得する。 ・左払いの向き、しよう部分の筆順と書き方を習得する。 ・文字の字形(直勢、向勢、背勢)について理解を深める。 ・基本の反復練習をし、楷書の基本を習得する。 ・太マジックペンで効果的な掲示物の書き方を練習する。 ・行間、文字幅の均等に書く意識をさせる。 ・行頭、行末を揃える。 ・前回授業から不得意な漢字を把握と練習をする。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。	楷書の基本点画 筆順の原則 楷書の字形について 検定問題を解く(第6問 掲示物) 楷書の基本点画(復習) 行書の基本点画		○	○	(知) 書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・行書体に調和する平仮名の練習をする。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・数字の書き方(直立体、斜体)を練習する。 ・葉書の宛名の書き方を習得する。	行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行) 行書の基本点画(平仮名カタカナ) 行書の基本点画 漢字仮名交じり文 検定問題を解く(第3問 漢仮) 行書の基本点画 数字の書き分け 葉書の表書き 検定問題を解く(第5問 葉書)		○	○	(知) 書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・楷書の横書き文章の練習をする。 ・短時間で掲示物レイアウト作成をする。 ・太マジックで書く練習をする。	検定問題を解く(第4問 横) 検定問題を解く(第6問 掲示物)		○	○	正しい楷書を使用し、文字が潰れないように工夫して書いている。	○	○	○	2
2 学 期	・7月実施模擬テストから、不得意箇所の把握と復習をする。 ・行書体に調和する仮名文字を習得する。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。	検定問題を解く(小テスト) 漢字仮名交じり文 検定問題を解く(小テスト) 漢字仮名交じり文 行書の基本点画 行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行)		○	○	(知) 書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・丁寧かつ速く文章を体裁よく書けるように練習する。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首よっての点画のくずし方を理解する。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。 ・前回授業から不得意な箇所を把握と練習をする。 ・行書体に調和する平仮名の練習をする。 ・文字の大小、字間の整え方を習得する。 ・楷書の横書き文章の練習をする。 ・正しい筆順、筆順の原則を復習する。	検定問題を解く(第1問 速書) 行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行) 平仮名 漢字仮名交じり文 検定問題を解く(第3問 漢仮) 検定問題を解く(第4問 横) 漢字の部首の名称 楷書の筆順 検定問題を解く(第7問～8問)		○	○	(知) 書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。 ・正しい筆順、筆順の原則を復習する。 ・硬筆書写検定3級の検定を実施 ・基本的な連綿の4方法を短い言葉から練習する。 ・基本の反復練習をし、連綿の基本を習得する ・筆圧と執筆の速度の調整をする。 ・長い連綿を反復練習をし、連綿のリズムを捉える。 ・連綿を用いた文章で礼状や手紙を練習する。 ・長い連綿を反復練習をし、連綿のリズムを捉える。 ・異種からの連綿を練習する。 ・十干十二支について理解を深める。 ・変体仮名の種類や歴史を知る。	行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行) 漢字の部首の名称 楷書の筆順 検定問題を解く(第7問～8問) 検定を実施 連綿の基本練習 連綿の練習 【実用書】 年賀状の作成		○	○	(知) 書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
3 学 期	・様々な筆記具を用いて、芳名帳に氏名に書く練習をする。 ・正しい宛名書き、表書きの書き方を習得する。	【実用書】 封筒の宛名の書き方 ご祝儀袋の表書きの書き方		○	○	(知) 仮名の書を構成する様々な要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆とのかかわりについて理解している。  (思) 仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。  (学) 主体的に仮名の書の創造的な表現・鑑賞の学習行動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
										合計